

KSKP BUG^{バグ}

No.71

発行人/関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル4F
編集人/〒601-8036 京都市南区東九条松田町62
NPO法人日本自立生活センターワークス共同作業所
TEL (075) 682-3201
FAX (075) 682-3330
http://kyoto-j-works.com/
Eメール saba@mediawars.ne.jp
編集責任者 大崎雅彦



書/小松満雄

春うれひ 桐彩りひよの声。

目次

特集

- 新春放談 話そう「今年、ワークスでやってみたいこんなこと、あんなこと」・・・2
- イベント情報・告知～報告「新年会/告知 東九条春まつり」・・・4

連載

- ひろがれ ワークスの輪「十条郵便局」・・・5
- ワークスリレー・エッセイ・自立生活と私「数十年経った、今日この頃」岩本永子・・・6
- ルーベ八木の手相雑記考・・・6
- NAKAJIMA'S EYES「羊」・・・7
- あしあと・・・8

ワークス2015新春放談

聖林院、アートフェスタ、イベントの参加...

今年、ワークスでやってみたいこんなこと、あんなこと



今日のテーマは、昨年を振り返りつつ (司会) 長井
「2015年ワークスでやりたいこと」です。

葛西：まず去年までの聖林院の中では活動をまとめると、みみづくさんの護持をワークスさんに協力を頂いて、掃除をしてもらったり、毎週お寺を開けることで管理の一端を担ってもらっています。またそこで出店、販売することで、参拝者(お客さま)を増やすことにも協力してもらっています。

長井：岩本永子さん、何かこうしたいことはありますか。マップを作られたりとかグッズを売られたりとか・・・。

岩本永：私は何回か行ってるのでトイレも綺麗だし、ええなあと思います。ここに泊って家に帰る(笑) そういう泊まりの宿にここが一番ええやろなと今思いました。

長井：今、永子さんのお話にあったように、女性の障害者ってやっぱりトイレの問題が大きいのですよ。お寺もその辺を整備してもらおうということが第一条件かなと思うんです。

葛西：そうですね。「バリアフリーのトイレを作ったよ」といっているけれど、実際車いすでは使いにくい。ワークスさんのチェックが入ることで、実際に改善点がわかってきたわけです。

長井：次は行事について。いろんなイベントに出店して、どんなふうになりますか。

鈴木：僕はいつも話だけは聞いているのですが、藤森神社とか行ったことがないので何とも言えないけれど、出来るなら、綿菓子やうちの畑で採れた物以外にも何か販売した方が良いと思います。

長井：販売されて苦勞されることとかありましたでしょうか。

岩本永：ワアッと子供連れが来られる所はすごく綿菓子売れるけれど、「若い子よりええ」言ってくる方もいて「いやあ、この人障害者のことに力を入れてくれている」とか思ったことが度々あります。

椿森：大変なことは大変やけど、会議が遅くなったら、帰りは10時頃になるし、それからご飯食べたらもう11時。お風呂入って12時になって。それでも行かないとイベントに出

さしてもらえんから。参加できた時はうれしいわね。同じ顔の人が来てくれたりも。

葛西：椿森さんが、色々関係各所との調整をしてくれたことは大変意義深いですよ。

椿森：今後は、逆に出す方(主催)にまわりたいな。出店者を集めて。

葛西：これからのワークスが取り組まなくてはならない一策だと思います。

長井：そうですね、まずはオリジナルグッズを作りたい。イベントの元締めをしたいということですか。そういう意味では、去年やったアートフェスタなんかはどうでしょう。アートフェスタ+お店を出して、にぎやかにやるとか。

葛西：では、皆さん、アートフェスタの方向性に気付いたことなどありますか。

長井：方向性とはどういうことですか。

葛西：はい、アートフェスタっていうのが、オブジェを作ったり、絵画を描いたり、書を書いたり・・・。もっと多様な表現の「形」があって良いと思うんです。

鈴木：アートフェスタ自体は、ああいう展覧会みたいな感じがいいと思います。どんどん作品をつくっていけたらなって思います。

長井：見に来てくれた人は・・・。集客のために、もっとピラを出してもいいですよ。

大崎：そう思たんやけど、最初その会場の展示できるスペースとか、全く初めてでわからへんかったし、あんまり広げてもどうするってみたいな感じで。でも結構いい感じで設営できたのですごく良かったと思います。けれど2回目、次が難しいところですよ。

長井：27年度については、どういうスタイルで？
大崎：去年とほぼ同じような感じで、もう一回や



左から
← 鈴木さん
葛西さん
岩本さん
藤原さん
椿森さん
司会の長井



聖林院のみみづく地蔵さん



左2枚 聖林院
真ん中
アートフェスタ
右 藤の森神社
手作り市

ってもいいかなと。やってわかったんやけど、自分で作品作って出す人と、いわゆるプロデュースする人と、その力が両方ないと出来ひんし、皆がどっちも参加できて、その方がいいなと思ってます。なんかすごくワークス的な感じやったかなと。次回は同じような形でもう一回。そして第三回くらいで、ワークスの全体の行事の一つに出来たらなと思っているんです。「次の作品展に出すために」というふうに、皆で準備して作っていき、10回、15回やるようなものにしたいなと思います。また椿森さんが、いつも遅くまで会議に行ってくれて、結果あそこで出来たから、ああ、ちゃんと繋がっているなと思うんです。皆がそれぞれ役割を果たした結果だと思いました。

- 長井：繋がりがあるということはすごいことです。
- 大崎：まさに営業として、渉外というか重要やね。JCILとかワークスは、わりと苦手な体質やったから、非常に新しい業績やね(笑)。
- 葛西：それも一つキーワードですね。ネットワークを作るとか、人づくりみたいなもの・・・
- 長井：そうですね。ネットワークを作る概念。椿森さんはそのネットワークをどのように？
- 椿森：ネットワーク。だから取りあえず行って(笑)
- 大崎：取りあえず行く。これはすごい。名刺持って走ってくればるのは大きいと思うわ(笑)。
- 葛西：一回二回と行っているうちに、段々多くなりますよね。集まりに来たはる人の輪が。
- 長井：やっぱり車いすの営業部長なのが良い。
- 大崎：それを上手に皆活用するようになってね。
- 長井：それがJCILのアクセス権運動の効果じゃないですか。地下鉄の柵を付けたり、リフト付きの市バスを走らせるとか。そういうところからはじまっているんですね。ここまでを振り返って藤原さんはどう思われますか。
- 藤原：やっぱり人と外に出ること、会議に出ること、いろんな人と出会うことの中で、新たな繋がりが生まれ、活動が拡がっていく。これからも大事に進めていくことでしょう



PCを使
い何
か
が
伝
え
て
い
く
何
か
が
大
切
!



左
上
大崎所長
右
上
岩本夫妻
左
下
鈴木さんと葛西さん
右
下
椿森さんと藤原さん



か。今まであまり意識をせず、成立した部分もあったけれど、更に意識することで一カ所ごと、大事に付き合っていくその中で新たな仕事活動や表現の場を、作り続けていくことが大事じゃないかなと。そのため、どんな仕掛けを作っていくか。どこかの団体とお付き合いするためには、理由(新たな展開)が必要でつながれるツールを作って、活動していけたら良くなって思いました。小物とか、自主製品もあるのですが、皆が納得するような、一点に集中した形で、できる商品開発は何かないかなと。

- 長井：ちょっと話は変わるんですが、パソコンの仕事、特に商品開発では、パソコンを通してすることが多いと思うんですけれど。
- 大崎：自分の中では、わりとその部分って、小さくなっていて。今の若い人は、皆当たり前のようにパソコンを使えるから、何か面白いことを考えたらすぐに実行すればいいかなって思うのです。でも結構難しいけど。さっきの椿森さんの営業も、アートフェスタやネギ姫のことも、パソコンを使って何かを創り出すというのは、結局どう使って何かを作っていくか、皆で考えることですよ。
- 長井：皆の話から、自分の生活をプロデュース、ネットワークを大事にする、商品開発にパソコンツールを使う、この三つが、今年のワークスのキーワードかと。その上でクリエイティブしていきたいなと思います。
- 松田：皆さん元気よくやるように。
- 長井：皆さん、今日は有難うございました。

イベント情報 告知～報告

こんなことありました!

新年会を行いました

1月9日(金)にワークス共同作業所で、新年会がありました。

昼下がりの午後3時過ぎから行いました。総勢で30数名の参加となり、和気あいあいとした穏やかな雰囲気の中、所長の年始のあいさつからはじまりました。そのあとは所員等から年始にあたって、一言ずつコメントをもらいました。他にはクイズ大会もしました。正解者には景品があたるので新、年早々参、加者一同、白熱し、盛り上がりしました。

会食では、お寿司やピザ、オードブルなどをお腹いっぱい食べてみんな満足でした。この日は、みんな幸せそうな顔をしていて、とても楽しい一日でした。

また新年会の準備に、年始早々から、所長をはじめとして当日までお世話していただいた多くの方、有難うございました。これからもこんな懇親会が開けたらと思います。



にぎやかなのがワークス流。

こんなことあります!

東九条春まつり開催について

来る4月18日(土)に、希望の家・東九条春まつりが、京都市多文化交流ネットワークセンターであります。

それに先立ち、春まつりの会議は、昨年12月からはじまりました。会議は、3週間に一度行われています。

今年、2月の会議から小松さんに出店の担当として、会議に出いただき、私は、ステージの担当として会議に出るようにしました。

ステージでは、例年、昼まではあまり人が見に来られず、昼からは段々とにぎわいをみせていきます。

お子さんのステージ、それから高齢者の方の部、最後に東九条マダンの華やかな楽器演奏でお開きとなります。

出店の方は、ワークス共同作業所では、綿菓子とピーズと野菜を売るようにしました。野菜は時期によりご用意できない場合もありますが、この記事をご覧になって関心を持たれた方は、ぜひお立ち寄りください。

○旬野菜～わた菓子



皆さん遊びに来てくださいね。



○ピーズアクセサリー

「広がれワークスの輪」取材しちゃいました

第8回

思わず、いきなり!

「バリアありーを優しさでカバー! 十条郵便局」

第8回は、十条郵便局様です。ワークス共同作業所にとって一番最寄りの郵便局で、普段からいろんな面で、ご親切にして頂いています。今回は、そんな郵便局にインタビューさせていただきました!

お話/平鍋 章一さん(局長) 以下敬省略



何より心配りが魅力の十条郵便局さん・・・

～いつもお世話になってます。

今日はよろしくお願ひ致します。～

平鍋：はい、こちらこそ、お世話になってます。

～まず、車いすの方、ご高齢の方のお客様へ気をつけておられる点などお聞かせください～

平鍋：そうですね、当局は出入り口のドアが重たいので、こちらで気がついたらドアの開閉をするようにしています。また、車いすのお客様と同じ目線の高さになってお話するようにも心がけています。当局窓口にはローカウンターがありませんので、社員がお客様フロアにまわってご用件を承るようにもしています。あと出る時に出入り口が坂なので注意しております。手押し車の高齢の方にはやはり大変なので。

～バリアフリーについて、現状の課題やその他、現場でお感じになる点などお聞かせください～

平鍋：局舎の構造上、バリアフリーには程遠い感があります。入り口が自動ドアでないこと、ローカウンターがないこと、手すりがなく、カウンターが高いので、事務フロア側から入り口ドアが見づらくなっていること。たくさんお客様にご不便をおかけしていることと思います。その分、社員がお客様の為に何を差しあげられる事が出来るのか、常に考えて反省を繰り返しています。ATMが使いづらい、そんなときもやはり、フロアにおいて対応する、気付けばすぐにドアを開けるなどしています。

～また、貴局でいつも車いす利用のお客様は、どれくらいいらっしゃいますでしょうか～

平鍋：そうですね、5、6人はいらっしゃると思います。先述したように押し車を使われているご高齢の方も少なくありません。

～最後に地域社会との関わりについて、

今後の思い等をお聞かせください～

平鍋：地域にお住まいの方、お勤めの方に気軽に何でも相談できる金融機関、流通手段としてご利用いただけたらと考えています。ゆっくり、丁寧に心を掛けていきたいと思っています。

～ありがとうございます。

どうぞ、これからもよろしくお願ひ致します～

平鍋：こちらこそ、よろしくお願ひします。ありがとうございます。

取材にあたって

今回、取材をさせていただいて、郵便局はバリアフリー化が思いのほか、構造的に進んでいないことがわかりました。

一方では車いすユーザーのみならず高齢者等の手押し車での利用があることも、お話を伺って知りました。

その分、ソフト面で局員さんが、手伝えることがあれば気を配って、お手伝いをし、ハード面での不備をカバーされるよう努力されているようです。

最後になりましたが、このインタビューに、快く応じてくださった十条郵便局の皆様、有難うございました。これからもよろしくお願ひします。

ワークスリレー・エッセイ 「自立生活と私」

数十年経った、今日この頃

岩本 永子

結婚を機に親元を離れ数十年になりますが、当時は夫婦ともに若かったのでそれぞれ出来ることはなるべく自分達で生活していましたが、現在は、ヘルパーさんの温かい介助があり嬉しく思います。

自分達で出来ることは少なくなりましたが、介助を受けながら自分達らしく楽しく暮らしています。

夫婦で色んなところに出かけるのが楽しみで、これからも積極的に外へ出かけていきたいと思っています。

いつも支えていただいているヘルパーの方々、ありがとうございます。感謝しています。これからも、宜しくお願いします。



いまでも仲良しのお二人は、夫婦の鏡？！

プロフィール

ワークス共同作業所の一番初期からのメンバー。夫である岩本正一さんもワークスのメンバー。おおらかな性格で、笑顔が素敵です。お出かけも大好きです。

ルーベ八木の手相雑記考 ～手のひらの丘～

前回の記事を復習し、月丘について説明させていただきます。手のひらにはいくつかの丘があります。丘には様々な意味があります。それぞれの丘がふくらんでいる（発達している）場合にはそれぞれの意味が強くなります。

- ☆金星丘の発達した人は優しく、愛情の深い人が多いです。
- ☆木星丘の発達した人はリーダーシップもあり、向上心のある人です。
- ☆土星丘の発達した人は忍耐力があり、努力家です。
- ☆太陽丘の発達した人は人気があり、芸術的センスもあります。
- ☆水星丘の発達した人は金銭感覚がすぐれていて、コミュニケーション能力もあります。
- ☆月丘の発達した人はロマンチストな人が多いといわれています。



指や丘には星の名前が付いています。西洋占星術との深いつながりを示しています。

皆様からのご質問は
BUG 編集部までどうぞ。

占

次回をお楽しみに・・・。

NAKAJIMA'S EYES

ひつじ・・・



未年の人もそうではない人も
メイメイ、お読みください。

羊は非常に群れたがる性質をもち、群れから引き離されると強いストレスを受ける。

先導者に従う傾向がとても強い（その先導者はしばしば単に最初に動いた羊であったりもする）。

これらの性質から家畜化され易い、極めて重要な生態だった。

羊のつくものは沢山ある。例えば「羊羹(ようかん)」ももとは中国の料理で、読んで字のごとく羊の羹(あつもの)。これは本来の意味の羊のスープであったと思われる。冷めることで肉のゼラチンによって固まり、自然に煮凝(にこご)りの状態となる。

鎌倉時代から室町時代に、禅のお坊さんによって日本に伝えられた。

禅宗では肉食が戒律(五戒)により禁じられているため、精進料理として羊肉の代わりに小豆(あずき)を用いたものが、日本における羊羹の原型になったとされる。

しかし寒天を使用した練羊羹が一般に広く普及したのは江戸時代の中期からであって、それまでは依然として蒸し羊羹が主流を占めていた。

「羊」のつく教訓

「羊頭狗肉(ようとうくにく)」

羊の頭を看板にして実際には犬の肉を売っているということから、見かけと中身が一致しないこと。また見かけに騙されるなという訓え。高校の漢文でよく聴かされた。

「亡羊の嘆(たん)」「多岐亡羊(たきぼうよう)」

逃げた羊を追いか求めたが、道がいくつにも分かれていて、とうとう羊を見失って嘆いたという「列子 説符」の故事に由来する。

学問の道が多方面に分かれていて、容易に真理を得がたいことのとえ。また、思い迷って途方にくれる、どうしてよいかわからず考えあぐねること。

天候についての諺

“March comes in like a lion and goes out like a lamb.”

3月は、ライオンのようにやってきて子羊のように去っていく

3月初めの天候は荒れ模様だが、辛抱すれば、3月の終わりには、(子羊のような)穏やかな天気に恵まれる。

「未年」だからといって、今の世相。大人しくなんかしてられない。しかし慌て過ぎて、「多岐亡羊」のように、思い迷い途方にくれないような、人生を送りたいものです。

このコーナーへの感想やリクエストをお待ちしております

NAKAJIMA'S EYESでは、皆さんからの感想や、テーマのリクエストを募集しております。BUG編集係までお気軽にお便りください。



手づくり市であいましょう。—— ワークスは、皆さんのまちにいきます。

毎月8日・・・ほていまつり(宇治・黄檗山萬福寺)

毎週火曜日(午後1時～)/8日/24日・・・宇治・黄檗山聖林院

毎月第三日曜・・・京都・藤森神社(※開催日変更有り)

オリジナル商品
占いも人気上昇中!

あしあと 2014年11月～2015年3月

2014年

- 11月17日 (月) 新しい作業開始
- 11月19日 (水) 畑
- 11月29日 (土) 東南フェスタ
- 12月 8日 (月) ほていまつり
- 12月 9日 (火) バナナ寄贈
- 12月17日 (水) J C I L & ワークス&事業所、合同忘年会
- 12月17日 (水) 営業部長入院
- 12月21日 (日) 京都市障害者スポーツセンタークリスマス
- 12月26日 (金) 仕事納め

2015年

- 1月 6日 (火) 仕事始め
- 1月 8日 (木) ほていまつり
- 1月 9日 (金) 新年会/営業部長退院
- 1月18日 (日) 藤森神社手作り市
- 2月15日 (日) 藤森神社手作り市
- 2月19日 (木) 消防訓練
- 3月 7日 (土) 希望の家ミニバザー
- 3月 8日 (日) ほていまつり

姫のつれづれ日記

Spring has come . . . demi



皆様のご意見・ご感想を編集部までお寄せください。お待ちしております。

編集後記

十条郵便局に取材へ行きました。もう取材も、大分と数をこなして、インタビューすることを考えるのも慣れてきました。話を聞くことも少し慣れてきたかなとも思いますが、やはりワークスの外の方にお話を伺うのは難しいと思います。今年も皆様にとって良いことがありますように。(少し文句垂れ像)

team BUG

今回もあまり携わることが出来なくて、申し訳ない気持ちです。また、次の機関誌の時には精一杯手伝わさせていただきます。(D・E)

今年は、いっぱい行事があります。車いす仲間との会が出来て40周年ですね。僕も40歳です。(M・M)

今少し学んでいることがあって、最終のレポートを書き上げているところです…。私のまわりも、いろんな年代の「受験生」がおられますが、サクラ咲く春となることを願っています。(Demi,N)

次号特集予告

車いすのカスタマイズしませんか?!・車いす広告スタートへ

